
-Crisis Core-**魔法少女リリカルなのは～ソルジャークラス1st参上！～**

蒼鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

- Crisis Core - 魔法少女リリカルなのは ソルジャークラス1st 参上！〜

【Nコード】

N8664I

【作者名】

蒼鬼

【あらすじ】

友達クラウドを守るため、そしてエアリスに会いに行く為最期まで闘ったソルジャー・ザックス。

その生涯に幕を閉じたかと思いきやそこは違う世界だった。

彼はそこで何のために闘い何を救うことが出来るのか？

終焉そして始まりへ

雨が降る荒野に二人の青年がいた。

一人は金髪の青年。

もう一人は黒髪のオールバックにし大剣を右手に持ち仰向けに体中から大量の血が流れている。

青年は体中の傷が深く最早助かる見込みはない、そう自分でも死を悟ったのか青年は金髪の青年に最期の力を振り絞って声を掛けた。

「ザックス」

「俺の分まで……」

「あなたの……分？」

黒髪の青年ザックスは金髪の青年の頭を左手で掴んで自身の胸に引き寄せた。

「そうだ お前が……生きる。お前が俺が生きた証。そう言うと手を話ザックスは自分の右手に持っている大剣を見つめゆっくり持ち上げる。

「俺の夢や誇り……全部やる。」

大剣を金髪の青年の前に差し出し渡す。

「俺が お前の生きた証」

ザックスは頷くをゆっくりと目を閉じその生涯に幕を閉じたのだった。

「うわわああああああああああああああああ！！！」

金髪の青年クラウドはザックスとの想い出が蘇りその場で泣き叫ぶ。

クラウドは暫く動かず、雨も青年の心を現すように降り続け、やがて雨が止み空は晴れていきクラウドは託された大剣を両手で持つ。

「……………ありがとう。ザックス……………忘れない」

クラウドは重たい大剣を引きずりながらそのそのその場から離れていった。彼の夢と誇りと共に……………

ザックスがいた崖はクラウドが去って間もなく眩い光に包まれ、その崖ものともなく無くなっていたのだった。

終焉そして始まりへ（後書き）

次回からなのはの世界にザックスが登場します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8664i/>

-Crisis Core-魔法少女リリカルなのは～ソルジャークラス1st参上！～

2010年10月9日23時33分発行